

大会展望

男

子は、岐阜農林高が大会を引っ張ることになりそうだ。秋の選抜大会では圧倒的なディフェンス力で相手校に50点以上を取らせなかった。2014年3冠を成し遂げた王者は、3年連続33回目の縁起のいい数字で王者を維持できるのか楽しみな大会だ。対抗は、富田高が選抜大会決勝の雪辱をぶつけてくるはずだ。美濃加茂高・中津川工高などの活躍と共に、決勝リーグでの激闘に期待したい。

第1シードの岐阜地区を勝ち抜いてきた岐阜農林高が圧倒的な強さを見せつけてくるだろう。その対抗としてブロック決勝に上がってくるチームは混戦が予想される。選抜大会ベスト8の大垣日大高・徐々に頭角を表してきた岐阜地区5位の岐阜高専高の戦いぶりに注目したい。

中濃地区1位的美濃加茂高と西濃地区1位の大垣工高のブロック決勝が濃厚。しかし、飛騨地区3位の高山西高と中濃地区2位の可児工高の、激闘を制したチームの存在は軽視できないであろう。どこまでシード校に迫れるか。

女

子は、今大会も第1シードは岐阜女子高である。25年連続26回目の優勝を目指す。選抜大会でシード権を獲得したチームが、各地区予選会で崩れていることが波乱の予感を感じさせる。県岐阜商高・長良高・高山西高を狙い各ブロックでも白熱した試合が行われるだろう。そして、東海大会出場をかけた激しい戦いも予想される。地区大会で悔しい思いを味わってきた実力あるチームがどう絡んでくるか見逃せない。

女王岐阜女子高は、新チームとなったが、既に全国大会で十分経験を積んできている選手がたくさんおり、さらなる躍進が期待できる。また注目は西濃地区1位の大垣商高と東濃地区1位の土岐商高が2回戦で戦うことだ。土岐商高はブロック決勝までに試練の道を進まなければならないだろう。得意のトランジションバスケットを武器にどこまで上位を狙えるか楽しみだ。

毎年激戦区となるBブロック。飛騨地区1位高山西高の座を揺るがすチームは現れるのか。選抜大会ベスト4の岐阜農林高を破り岐阜地区を勝ち上がってきた岐阜城北高は最も勢いがあるだろう。去年の主力選手が残る中濃地区3位の関商工高は悲願のベスト4へ上がり、今大会の台風の目になることができるのか。

ブロック決勝に上がってくるのは中津川工高と岐阜総合高か。各地区大会を僅差で勝ち上がり勢いにのるのは西濃地区3位の大垣商高だ。また、東濃地区3位の恵那高が決勝リーグへの椅子を狙っているだろう。

富田高が安定した勝ち上がりを見せてくれることは間違いないだろう。東濃地区1位の中京高を始め、選抜大会でのシード校を倒して勢いにのる恵那農高が意地を見せてくるかもしれない。

努力を惜しまず勝ち上がり、そして少しの運を味方につけた各チームの選手たちのプレイを堪能したい。

注目のCブロック。岐阜地区の激戦を勝ち抜いてきた長良高と、選抜大会で一年生主体のチームながらベスト8に入り、近年着実に力を付けている美濃加茂高。そして、地区大会での惜敗はしたものの、新チーム駆け出し間もないチームの中でも、確かな実力をもっている岐阜農林高だ。試合を重ねる毎に経験を積み完成度は高まっていくことであろう。

選抜大会2位の県岐阜商高に挑むのは、中濃地区2位の郡上高と岐阜地区6位の岐阜総合高の勝者であろう。去年の主力選手が抜けた県岐阜商高の新チームが決勝リーグに上がるまでに、経験値の高いチームがぶつかっていく。